

ファンタジー物語構成・テーマ発掘テンプレート (AI深掘り対応版)

第1層: 神話的構造 (根源の物語)

世界の理(ことわり)や、物語の“宿命”を定義します。

1. この世界を支配する「法則」または「禁忌」は何ですか？
 2. その法則を破ると、どんな“代償”が生じますか？
 3. 世界は何を失っており、主人公はそれをどう取り戻そうとしていますか？
 4. 神・精霊・古代文明・異界など、“語り継がれる存在”は何を象徴していますか？
 5. この世界の“原罪”はどこにありますか？(戦争、傲慢、創造主の過ちなど)
-

第2層: 旅と変容 (英雄譚構造)

登場人物の精神的成長や、試練の意味を掘り下げます。

1. 主人公が旅立つ動機は何ですか？(使命／逃避／探求／贖罪)
 2. その旅は“外の世界”と“内なる心”のどちらの変化を描いていますか？
 3. 仲間・導師・敵はそれぞれ主人公のどんな側面を映していますか？
 4. 試練の中で主人公が“自分の信念”を疑う瞬間はありますか？
 5. 最終的に主人公は“力”よりも“理解”や“赦し”を選びますか？
-

第3層: 世界観と象徴 (舞台の魂)

世界設定そのものに「テーマ」を宿らせる層です。

1. この世界の地理・文化・魔法体系は“思想”とどう結びついていますか？
2. 魔法・力・神器は、感情や信念とどんな関係にありますか？

3. 世界が壊れた原因は「外的災厄」か「内なる人間性」か？
 4. 敵勢力(または闇の存在)は何を象徴していますか？
 5. 世界が救われたとき、それは“人類の進化”か“輪廻の完結”か？
-

第4層:余韻と継承(読後の神話)

物語が終わったあとに残る「語り」を意識します。

1. 物語のあとも語り継がれる“伝承”はどんな形で残りますか？
 2. 世界は完全に変わりましたか？それとも、また同じ螺旋を描きますか？
 3. 読者が「誰の物語だったのか」を改めて考えたくなる仕掛けはありますか？
 4. 救済・喪失・輪廻のうち、最も強く残る感情はどれですか？
 5. この物語の“最後の一文”に込めたい祈りは何ですか？
-

構成的には「神話的」「象徴的」な作品に強く、
ファンタジー世界を哲学・感情・美学の軸で構築したい方に向いています。